



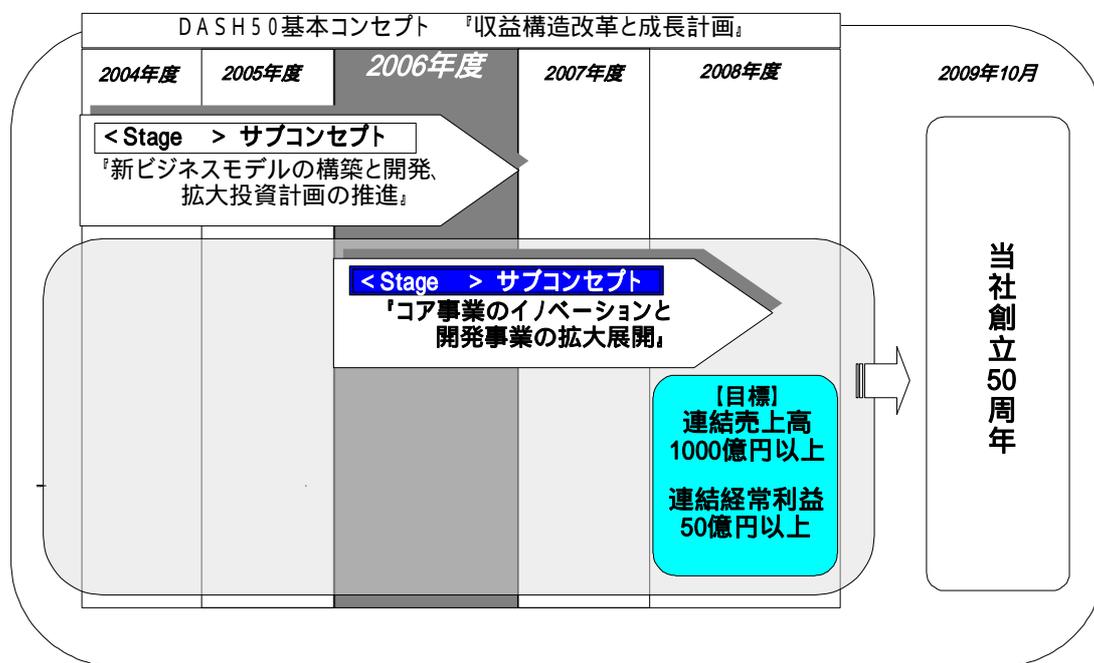
平成18年4月28日

各位

会社名 積水化成品工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小野 恵造
 (コード番号 4228 東証・大証1部)
 問合せ先 総務部長 竹腰浩次郎
 電話番号 (06) 6365 - 3014

中期経営計画「DASH50 - Stage」の策定について

当社グループは、収益構造の改革と成長を目指す3ヵ年中期経営計画「DASH50」(平成16年度～平成18年度)の最終年度を迎えますが、想定をはるかに上回る原料価格の高騰など、策定時からの事業環境が大きく変化しております。そこで、現在の「DASH50」を「Stage」計画と位置付け、「DASH50 - Stage」計画(平成18年度～平成20年度)を新たに策定しました。



1. 「DASH50 - Stage」計画での取り組み

「Stage」計画では、「テクポリマー」「テクノゲル」といった高機能材料や、「ピオセラ」などの高機能発泡素材を用いた包材・部材など、高付加価値製品のさらなる成長と収益拡大をはかりました。これを具現化させる方策として、当社事業本部の体制を、汎用性素材と機能性素材をベースとする事業に分け、それぞれの基本戦略に対応した3事業本部に再編することによって、原料から成形加工までの技術力および営業力を結集した一貫体制としました。また、積極的な設備投資など、重点分野への経営資源の投入をすすめました。

2. 「DASH50 - Stage」計画での重点課題

「DASH50 - Stage」計画では、「Stage」での諸施策を収益に反映させるべく、次の重点課題に取り組んでまいります。

(1) 発泡プラスチック事業のイノベーション

既存事業の事業力強化

地域拠点のネットワークを生かした新たな国内拡販体制の構築と、関係会社を含めた生産体制の

再編による事業体質強化に取り組むなど、事業環境の動向に左右されない安定的な利益体質の構築を進めます。

高機能発泡製品の事業拡大

売上が拡大している「ピオセラン」を用いた自動車部材などを中心に、グローバル展開の推進と顧客へのスピード提案の実践で、事業収益の拡大を目指します。

環境対応事業の拡大

リサイクルビーズ及び成形品「エプスレム」の拡販を進めるとともに、生産性の向上などで採算性のアップをはかります。

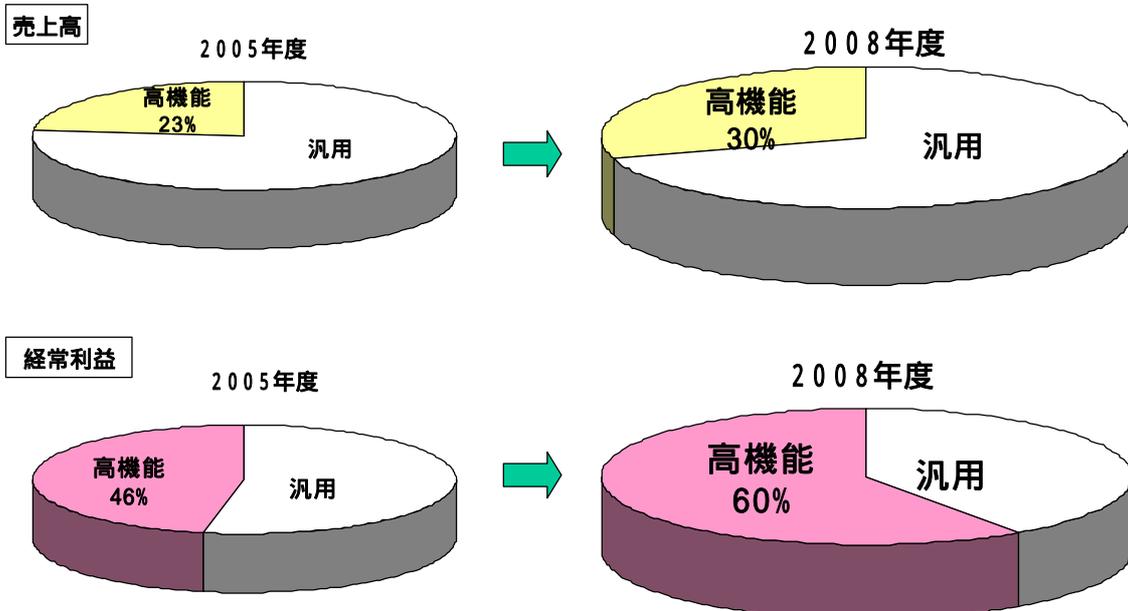
(2) 高機能材料事業の拡大

液晶分野など海外を含む成長市場に積極拡販するとともに、新たな市場分野を開拓し最終年度に本格事業化となるよう開発のスピードアップをはかります。

3. 収益目標

連結目標	平成18年3月期	平成21年3月期
売上高	892億円	1,000億円以上
経常利益	30億円	50億円以上
当期純利益	18億円	30億円以上
売上高経常利益率	3.4%	5.0%以上
総資産経常利益率(ROA)	3.4%	5.0%以上
株主資本当期純利益率(ROE)	4.0%	6.0%以上

成長市場や海外への拡販を進めることで、「テクポリマー」「テクノゲル」といった高機能材料や、「ピオセラン」などの高機能発泡素材を用いた包材・部材など、高機能製品のウエートを拡大することで、事業ポートフォリオの変革を実現します。



以上